

がんばってます

コサカ (向日市寺戸町)



小分けされて段ボールに詰められた商品を確認する
小坂社長(右)＝向日市寺戸町

交流と相談の場に

来月開設 大山崎町子育て支援センター

中央公民館内 火曜・金曜開く

大山崎町は10日に開「初旬に開設する「町子」町立中央公民館内に設

交流の場として活用し、職員や保健師が相談に乗る。

町によると、センターは62平方メートルで親子10組程度が活動できる。おもちゃや絵本、ベビ

洛西

穀物やイモ類などから抽出する「でんぷん」が主力商品。三代目社長の小坂裕司さん(47)は「影が薄いようですが、加工品の結着剤などに欠かせないんです」という。カップラーメンなどのめんをのびにくくしたり、冷凍中華のあんかけから水分が分離するの

を防ぐなど、用途は多彩。「最近ば、お年寄りの誤飲を防止するため、茶やみそ汁に入れて少し粘りを持たせるなど高齢者施設での需要も増えました」と意外な活用法にも触れる。

石川県出身の祖父が1941年に会社を創業。京都の染色業で使つた

用の加工でんぷんを販売した。染色業界の衰退で需要が激減したため、87年ごろに卸業に転換。現在は、京都を中心に砂糖などを扱う問屋や加工会社などに供給する。

将来の事業の新たな柱を模索していて、着目したのがサプリメントの開発。「とっぴとみられそ

新たにサプリメント開発

うですが、取引先にサプリメントを扱う会社が多く、ネットワークを通じて高品質の材料が入手しやすく加工も容易です」と語る。

その中で、「薬ウコン」とも呼ばれるクニツウコンを主体にした「ウコンplus」と「コラーゲンだけの「コラーゲンpure&simple」を商品化。自社開発で、こだわったのは「自分や家族が安心して毎日使えること」。「次も考えていますが無理をせず、良いものを提供したい」と意欲をみせる。

(佐々木伸次)